

平成26年度 第1回  
キャリアパス講演会&相談会

要旨集

日時：平成26年7月28日(月) 15:00～

場所：講演会 理学部3号館11番教室

相談会 理学部3号館第3会議室

# キャリアパス講演会&相談会

理学部 基礎化学科  
理工学研究科 基礎化学コース

日時：平成 26 年 7 月 28 日(月) 15:00～

場所：講演会 理学部 3 号館 11 番教室、相談会 理学部 3 号館第 3 会議室

【講演会】 15:00～17:00

- (1) 大沼 弘志 氏 (2008 年学部卒業、中山・佐藤大研)  
埼玉県警察本部 刑事部科学捜査研究所 勤務  
「何のために働くか」
  
- (2) 加藤 優 氏 (2010 年博士修了、永澤・藤原研)  
北海道大学大学院 地球環境科学研究所 助教  
「博士研究員を経て大学で研究者として  
スタートするまで」

【懇談会】 17:00～19:00

# 何のために働くか

大沼 弘志

## 要旨

### [流れ]

- 1 私の簡単な自己紹介について
  - (1) 埼玉大学を志望した理由について
  - (2) 大学時代
  - (3) 前の仕事（教員）について
  - (4) 現在の仕事（研究職）について
  
- 2 就職して感じたことや気付いたことについて
  - (1) 埼玉大学生であったということ
  - (2) 大学時代に学んだことは使えたか
  - (3) 学部卒であることの劣等感
  - (4) 仕事への考え方
  
- 3 現在の仕事（科捜研職員）について
  - (1) 会社のルールについて
  - (2) 仕事内容について
  - (3) 入社試験について
  - (4) 入社してから
  
- 4 まとめ

### [講演に際して]

キャリアパス講演会ということですが、教員も現在の会社の入社試験も就職活動とは程遠く、就職活動らしい就職活動は行っていません。しかし、皆さんが進路を考える上で、皆さんと重なる部分も、そうでない部分もあるかとは思いますが、何か少しでも参考になればと感じています。

# 博士研究員を経て大学で研究者としてスタートするまで

加藤 優

## 要旨

大学生になって振り返ってみると小学校、中学校、高校で様々な教師に出会ってきたことに気づくと思う。高校時代に出会った教師に影響されて高校教師になりました、といったような話はよく聞く。それに対して大学教師はどうか？大学の授業を受けて大学教師になることを決意しました、という友人には私は出会ったことがない。しかしながら、気づいたら私は大学教師の一人として現在働いている。果たして私はいつから大学教師になりたいと思ったのだろうか？

私は大学4年から研究室に配属されて研究をスタートし、化学に魅せられ、そのまま修士課程、博士課程の計6年間で埼玉大学で研究に費やした。そして、イギリスと愛媛で博士研究員としての4年間の研究生活を経て現在の職に就き“研究者”となった。研究者の研究環境としては民間企業、研究所、大学など様々な選択肢があるが、私の場合は大学であった。結果として、大学教師の一人になった。

私の研究者へのキャリアパスはあまり一般的だとは思わないし、学生自身の今後のキャリアパスを考える上で参考になるかどうかはかなり疑問である。しかしながら、私が今まで出会った人々、進路を決断したときの思いなどを共有することで少しでも参考になれば幸いである。